

GRID プランニング 改定に関する、「旧データの取り扱い」について

■ 2/20 以前の見積データ（以下旧見積データ）を見たい

→ 改定新システムの「見積履歴」に 2/20 以前の見積も、旧価格のまま残っています

■ 旧見積データを、プランはそのまま新価格に更新したい

→ 新システムの「見積履歴」から旧データ呼び出して、画面左下の「このプランを元に新規作成」をクリック
最初の画面に戻り、新規の管理No.による、新規のデータとして更新されます

プラン内容を変更せずに、価格更新のみの場合、プランニング画面を經由して見積明細画面に進みます

結果として、新価格に更新された見積書が作成されます ※ 見積日、管理No.は自動的に変更

このプランを保存すると、旧データはそのまま残した上で、新規のデータ、新価格として追加保存されます

■ 旧見積データのプラン内容を変更したい（新色に変更したい、新機種を追加したい・・・）

→ 新システムの「見積履歴」から旧データ呼び出して、画面左下の「このプランを元に新規作成」をクリック
最初の画面に戻り、新規の管理No.による、新規のデータとして変更、編集されます

プランニング画面で、色の変更、棚板の追加等の編集を行う

見積明細画面に編集後のプランが表示され、同時に、価格も新価格に更新されます

このプランを保存すると、旧データはそのまま残した上で、新規のデータ、新価格として追加保存されます

■ 旧見積データを旧価格のまま変更したい

→ 2/20 以前のサイトを残しておりますが、ホームページからはアクセス出来ません

専用URL www.tigran.jp/pastplan0220 に直接、アクセスします

「見積履歴」から、プランデータ呼び出して、従来と同じように変更、編集します

この場合、新色、新機種はプランニングできません

価格も旧価格のままです

※ ご注意

● 「見積履歴」の旧データに、廃止品番が含まれている場合は、新システムでの新価格見積は作成できません

● データの新旧の見分け方 : 管理No. の末尾 **N** の有無にて識別

N が付いている場合は、新価格 付いていない場合は、旧価格